

# GES政策系ゼミ 研究計画発表資料

2012年5月15日

(仮)環境金融での財の価格付け基準に関する調査研究  
－農産物担保の評価基準を通じて－

岡村 雅人 Masato Okamura

慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士課程1年



# 目次

1. 背景
2. 問題意識
3. 研究の目的
4. 研究の対象
5. 研究の手法
6. 研究のフローとスケジュール



# 1. 研究の背景

- 近年、「環境に配慮した金融の在り方（環境金融）」の重要性が指摘されている
- 環境金融行動原則の策定をはじめ、実務での実践が年々増加
- 依然として環境関連産業の資金需要は満たされず（特に第一次産業や中小企業、ベンチャー企業）  
（以下では主に金融の融資機能に着目）

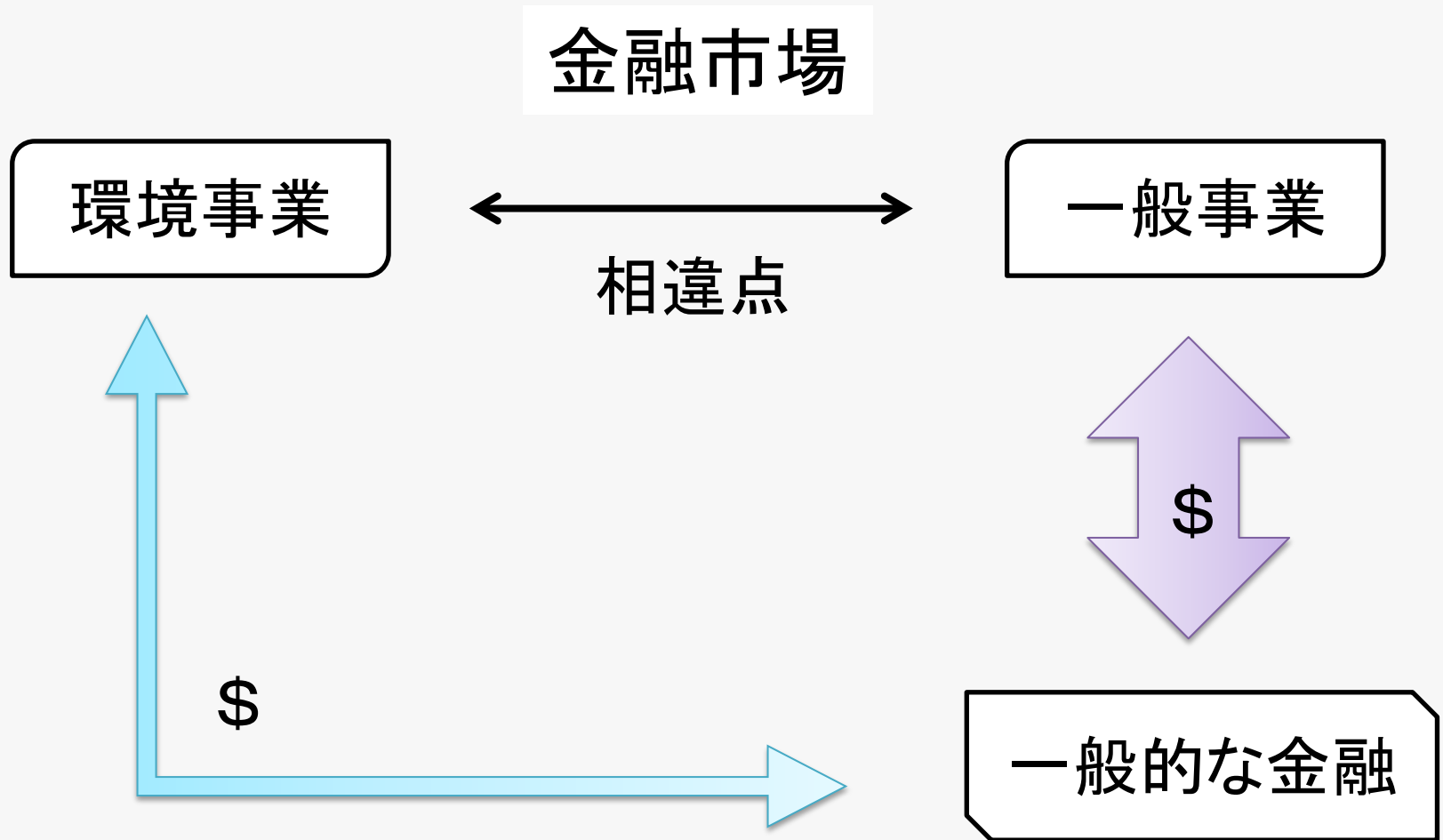


## 2.1 問題意識

- 🌱 一般事業と環境事業ではいくつかの「相違点」がある
- 🌱 一般的な金融における尺度を、そのまま環境事業にあてはめることは適切ではない
- 🌱 「相違点」を反映することで真の意味での「環境金融」が実現されるのではないか



## 2.2 問題意識の図示①



## 2.2 問題意識の図示②

金融市場

環境事業

一般事業

相違点

\$

\$

環境金融

一般的な金融



## 2.2 一般事業と環境事業の相違点

- 🌱 「主体」に関するもの
- 🌱 「時間」に関するもの
- 🌱 「金額」に関するもの



🌱 「不確実性」に関するもの

🌱 「情報の不足」に関するもの

🌱 扱われる「財」に関するもの

